



地域交流 サポート 情報紙

NPO たまりば

平成26年2月17日発行 NO.3

「"すごろく"で学ぶセキュリティ講座」 レポート

去る11月9日(土)と11月16日(土)の2日間にわたり、町田市の市民企画講座として、「あなたのパソコンは、狙われている！"すごろく"で学ぶセキュリティ講座」が開催されました。この講座は、「パソコンやインターネットを安全に使うための基本的対策とは？」をテーマに、なりすまし、ウイルス感染、インターネット詐欺等の被害に合わないよう、「セキユろく」(セキュリティすごろく)を使って楽しく学ぶもので、町田市市民企画講座の一環として、「たまりば」が企画しました。その内容を簡単にご紹介します。



「セキユろく」とは

「セキユろく」とは、家族や友人、出会った人と一緒に楽しみながら、パソコンやインターネットの安全な使い方を学ぶ"すごろく"ゲームです。「ゲームで遊んでいくうちに、いつの間にかパソコンやインターネットの安全な利用法や危険性についての知識が身に付けられたら」と2010年に駒澤大学の学生が発案、その後、認定NPO法人イーパーツで製品化しました。現在では全国で多くの方々が「セキユろく」でパソコンやインターネットの安全な使い方について学習しております。今回の町田市民企画講座では、同法人の会田和弘氏を講師としてお招きし、「セキユろく」の体験を通して情報セキュリティについて学びました。

情報セキュリティとは

情報セキュリティとは、次のような各種のリスクをなくすことにあり、対策を施して安全を確保することです。

- (1) 機密性の喪失
情報が不正にアクセスされたり見られてしまうことで、ID やパスワードを盗まれたり、コンピュータウイルスで情報が漏洩する場合や人がUSB メモリーを落としてしまう場合がこれにあたります。
- (2) 完全性の喪失
情報を不当に破壊・改ざんすることで、攻撃者によるウェブサイトの書き換えやコンピュータウイルス等を仕掛ける事等がこれにあたります。
- (3) 可用性の喪失
情報やパソコンが不正に利用され、使用できない状態になることで、コンピュータの故障や盗難、サイバー攻撃等がこれにあたります。



会田講師から情報セキュリティの
講義をして頂く

情報セキュリティに関わる主な不正行為

- (1) インターネット詐欺
- (2) 不正プログラムによる情報漏洩
- (3) 不正プログラムによる他のコンピュータを攻撃
- (4) ホームページの改ざん
- (5) なりすまし
- (6) 個人情報の取得
- (7) 著作権侵害
- (8) 名誉毀損、誹謗中傷など

※これらの不正行為の目的は、ほとんどが金銭目的です。

情報セキュリティ対策

- (1) 現状の確認
自分のパソコンの状態を確認すること。
- (2) 被害を未然に防ぐ措置
ファイアウォール、Windows Update、ウイルス対策ソフト（セキュリティ対策ソフト）、パスワードの管理、無線 LAN のセキュリティ設定、暗号化通信などがこれにあたります。
- (3) もしもの時には
 - ① 深呼吸して落ち着くこと。
 - ② ウイルス感染した場合、ウイルス感染が疑われているパソコンをネットワークから切り離します。ただし電源は切らないこと。
 - ③ 架空請求された場合には、請求の画面を印刷し、振込の口座番号や業者名をインターネットで国民生活センターの HP で確認すること。
 - ④ クレジットカード情報を盗まれた場合は、クレジットカード会社の「カード紛失・盗難受付デスク」に連絡して、最寄りの警察に被害届を提出すること。
 - ⑤ 個人情報を誤って流出した場合は、流出した個人情報を特定し、本人に流出した旨を知らせて、企業や NPO 団体ならば監督官庁に届け出して、個人情報を流出した旨を発表します。

講座を受けての感想

今回の講座は2日間延べ48人と多くの方にご参加頂きました。参加者はご年配の方がほとんどでしたが、ご記入頂いた感想からもその関心の高さが伺えました。

- ・このようなすごろくは初めての経験でしたが、面白い試みだと思いました。
- ・運だけで進むのが面白かった。初対面の方ともわいわい楽しめてよかった。
- ・セキュリティ対策で不安に思っていたことが少しわかって安心しました。以前ノートンで遠隔で操作されて大元のソフトを消去されてしまい、不安でした。
- ・PC活用のおススメ版セミナーばかりが目立ちますが、このようなセミナーは非常に有意義だと思います。継続を！
- ・初めての経験、楽しく学べました。
- ・何が出るのかドキドキして面白かった。
- ・セキュリティに関する用語はほとんどわかりますが、遊びながら整理できるので、有効だと思います。

「たまりば」とは

福祉住環境コーディネーターが集まり、町田をひとつの福祉コミュニティ構築の場「たまりば」として選びました。

少子高齢化が進む日本に於いて、老後を「介護保険」などの制度や措置に頼るだけでなく、自立した生活ができる場が求められています。これに鑑み、各世代が地域と情報を円滑に共有し、老後の生活設計をサポートするための情報交流の場作りを促進します。

◆ 活動内容

- 【1】 町田市の社会福祉協議会、生涯学習センター、集合住宅などの活動団体と連携し、高齢者・障害者・若者が集い、情報交流できる場の創設とイベント企画
- 【2】 高齢者住宅、介護施設の見学会や勉強会、セミナー等の開催
- 【3】 建築関係者・福祉関係者・福祉住環境コーディネーターによる、高齢化や障害に伴う、諸問題や介護保険に関する相談の受付および住宅相談・改修業者への取次ぎ

◆ 定例会

町田市在住の福祉住環境コーディネーター協会理事である鶴田一夫氏を中心に、2009年5月より12名が集まり、前出の理念のもとに、長寿少子化社会に不可欠な認知症の理解と介護、福祉介護の法律相談、高齢者の介護予防、成年後見、住環境改善のそれぞれの専門家と連携して活動しております。

毎月第2日曜日に町田市民フォーラムなどで定例会を開催しておりますので遠慮なくご参加下さい。参加をご希望の方は、下記EメールまたはFAXで事前にご連絡下さい。

会員募集

「たまりば」では会の活動に協力していただける会員を募集しています！ 学生・一般の方・建築関係者・医療関係者・福祉関係者・福祉住環境コーディネーターを取得されている方、興味をお持ちの方など、どなたでもご入会できます。

申し込みは <http://www.npotamariba.org>
あなたも活動に参加してみませんか！



ロゴマークの動物？
鹿と兎、友情と奉仕を表しています。

NPO たまりば

代表 金木 和夫

連絡先 〒194-0004 町田市鶴間

661-1-2-210

TEL・FAX 042-799-1894

Eメール kaneki@df.catv.ne.jp

